

このような地点においても生育確認を行い、生育が確認された場合には、地上部の花序及び葉の数の計測を行った。

#### (6) ミズワラビ

ミズワラビは既往調査において確認された生育地点において、生育の確認を行った。ミズワラビは種の特徴として、稲刈り・草刈り等が行われ、明るい湿地が作られた後に芽吹いて生育する種であり、生育の見落としがないよう稲刈り後の時期、草刈りのよく行われる時期に2回の調査を実施した。

なお、ミズワラビが確認された場合、既往調査と同様に、生育面積の把握を行った。

#### (7) コムラサキ

既往調査と同様とし、全ての地点での実数を計測した。

なお、コムラサキは初夏に薄紫色の花を咲かせ、秋に垂れた枝に紫色の小球形の果実を多数付けるため、結実等があれば記録した。また、生育範囲を把握して分布範囲図を作成した。

#### (8) ウスゲチョウジタテ

既往調査と同様とし、全ての地点での実数を計測した。ウスゲチョウジタテは昨年度新たに確認された種であり、耕作地が掘削された地点で出現したものである。今年度は、昨年度確認地点の他、調査地区内の新たに土壌がかく乱された地点に特に留意して調査を行った。

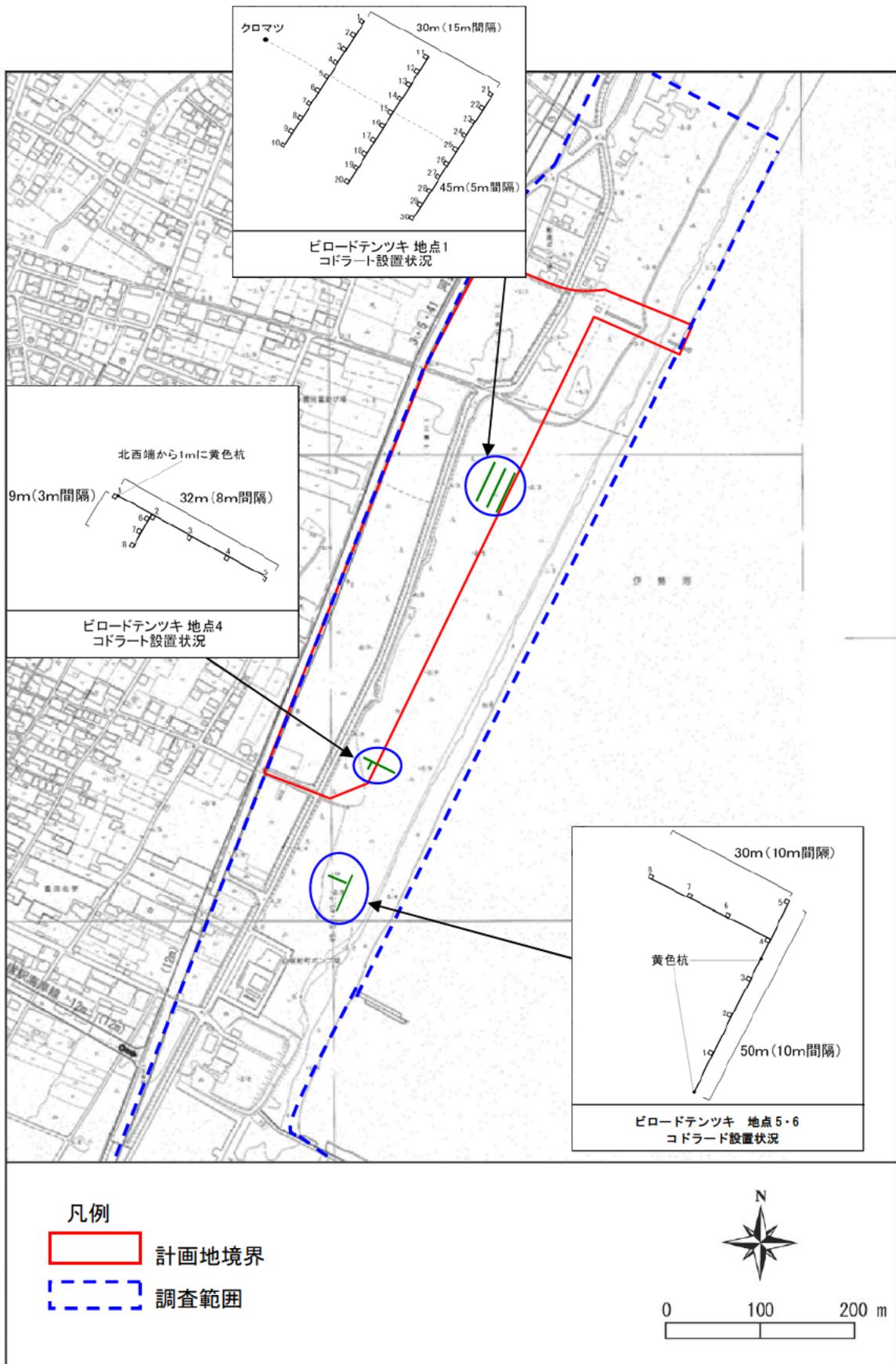


図 3.1-2 ビロードテンツキ コドラート設置地点

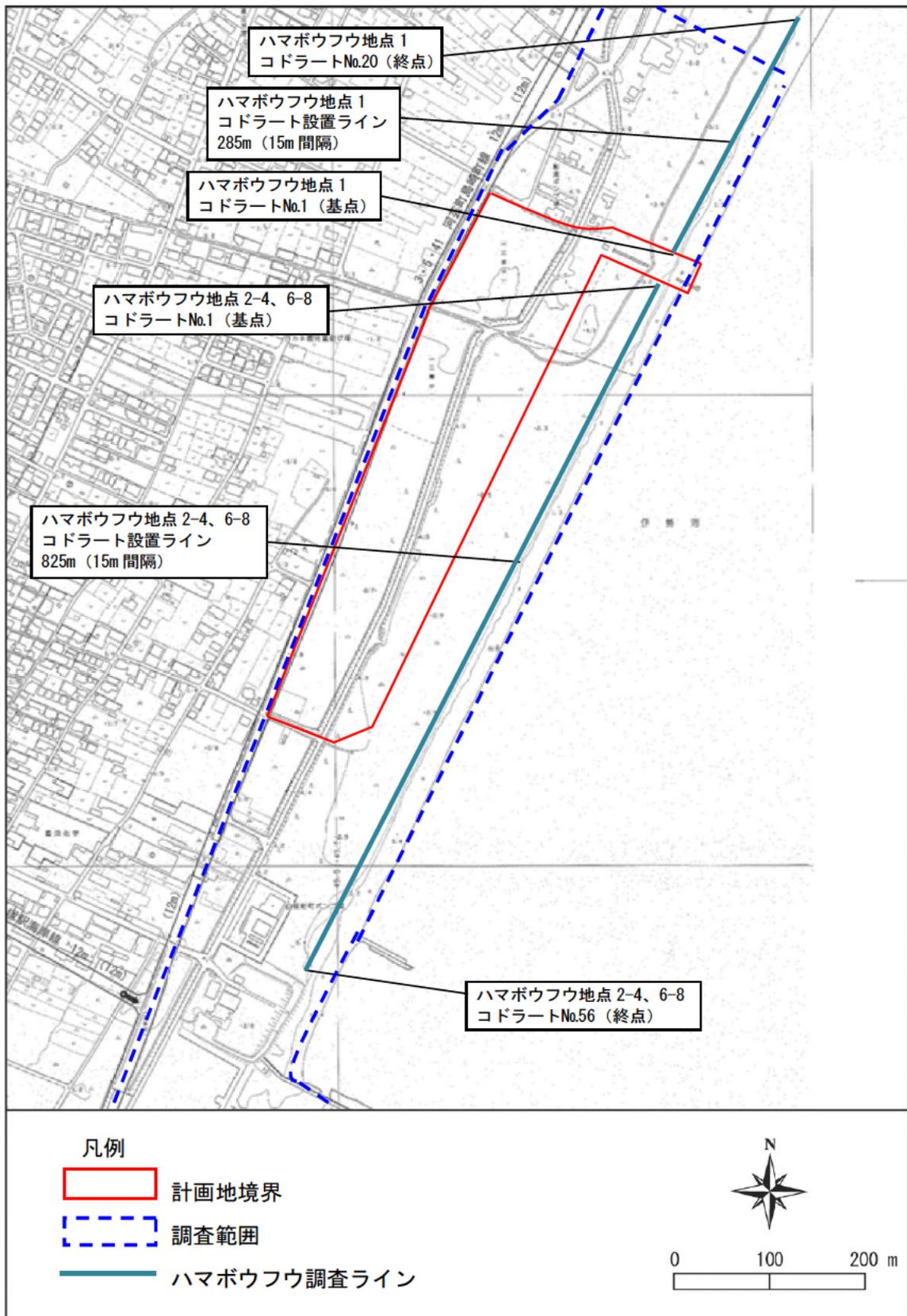


図 3.1-3 ハマボウフウの調査ライン

### 3.1.4 調査結果

#### (1) 特筆すべき植物の確認状況

##### 1) カワラナデシコ

カワラナデシコの生態及び確認状況を表 3.1-2 に、生育株数を表 3.1-3 に、生育株数の経年変化を表 3.1-4、図 3.1-4 に示す。

今年度調査では、これまで確認が記録されている 15 地点のうち 3 地点（地点 2、6、13）で生育個体が確認された。

確認数は、これまでで 2 番目に多い 3,014 株であり、主要な生育地は、これまでと同様に地点 2 であった。地点 2 では、今年度の確認総株数 3,014 株のうち 3,002 株（99.6%）を占めており、昨年度の 498 株から約 6 倍となっていた。その他の地点（地点 6、13）は、一桁（地点 6：4 株、地点 13：5 株）と少ない。

なお、主要な生育地の地点 2 の範囲は、昨年度より若干増えているが、大幅に増加はしていない。

本種は、種子により繁殖を行うことが知られており、多年草ではあるが種子生産後には個体の生存力が低下し、やがて枯死するとされている。そのため、種子による新規個体の加入が個体群維持のためには重要であると考えられている。

昨年度は、一昨年種子散布後に通過した台風等の高波により、種子が洗い流されたことが個体数減少の要因と想定された。昨年度に次いで総株数少ない平成 17 年度（796 株）においても、前年（平成 16 年）の東海地方への台風の接近数は 10（出典：気象庁 HP、台風の統計資料）と非常に多かったことが影響したと考えられる。したがって、台風等の高波の影響を受けやすい種であることから、調査結果のとりまとめに当たっては調査前年の気象条件についても把握する必要がある。

なお、地点 2 の総株数が概ね 2,000 株から 3,000 株で推移していることから、当該地区での生育株数は 2,000 株から 3,000 株が生育適数であると考えられる。

- ・カワラナデシコは、主に種子生産により繁殖を行うので、集団の存続のためには、種子生産が正常に行われていることが重要である。
- ・多回繁殖型の多年生草本ではあるが、実際には木本などと違って、それほど長命ではなく、種子生産後には、個体の生存力は低下して、やがて枯死すると考えられている。

「河川敷におけるカワラナデシコの繁殖に関する生態遺伝学的研究 東北大学 牧雅之 平成 12 年」より

表 3.1-2 特筆すべき種の生態及び確認状況（植物：調査対象種：カワラナデシコ）

カワラナデシコ	ナデシコ科	種の 保存法	-	環境省 RL	-	近畿版 RDB	-	三重県 RL	-
生態	本州～九州の低地や山地の日当たりの良い草原、河原等にはえる多年草。花期は 7 月から 10 月で花は茎頂に数個まばらにつく。秋の七草のひとつ。								
確認 状況	既往調査で確認された 15 地点のうち 3 地点で生育を確認した。								
									
カワラナデシコの生育環境									
									
開花個体		種子をつけた個体							
平成 26 年 8 月 26 日撮影									

※本種は、平成 7 年時点では、三重県 RDB（1995）において希少種に該当したが、現在（三重県 RL2014）はリストから除外されている。

表 3.1-3 カワラナデシコの生育株数

地点	合計株数	生育状況別株数（注）			
		幼	葉	花・果実	地上部枯
1	0	0	0	0	0
2	3002	199	619	20	2164
3	0	0	0	0	0
4	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0
6	6	0	2	0	4
7	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0
13	6	0	1	0	5
14	0	0	0	0	0
15	0	0	0	0	0
合計	3014	199	622	20	2173

注：幼；幼個体、葉；葉のみの成熟個体、花・果実；花や果実をつけた成熟個体、  
地上部枯；生育途中で枯れた個体または花後に地上部の枯れた個体

表 3.1-4 カワラナデシコ生育株数の経年変化

地点	生育株数													
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	2,167	2,698	2,013	1,218	771	1,020	2,173	2,470	1,656	2,051	4,062	2,799	498	3,002
3	1	4	2	2	1	2	0	0	0	0	7	0	0	0
4	20	10	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	3	5	4	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	36	48	42	23	21	20	18	20	19	13	20	4	4	6
7	-	-	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	-	-	-	-	-	2	0	0	0	0	0	0	0	0
9	-	-	-	-	-	-	3	2	2	2	4	0	0	0
10	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0	0	0	0	0
11	-	-	-	-	-	-	-	-	9	0	0	0	0	0
12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	8	0	0	0
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	0	6
14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0	0
15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0
合計	2,234	2,771	2,062	1,246	796	1,044	2,194	2,492	1,691	2,071	4,101	2,814	503	3,014

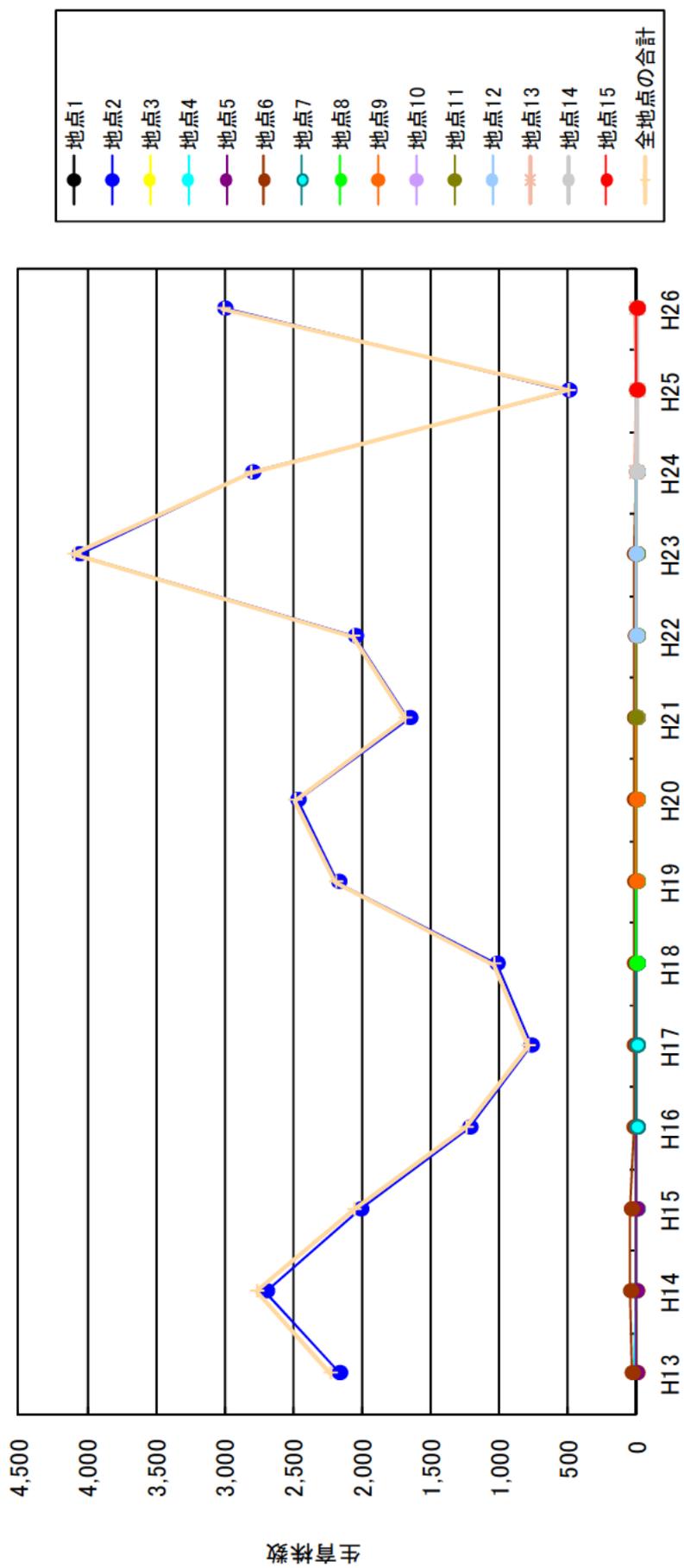


図 3.1-4 カワラナデシコ生育株数の経年変化

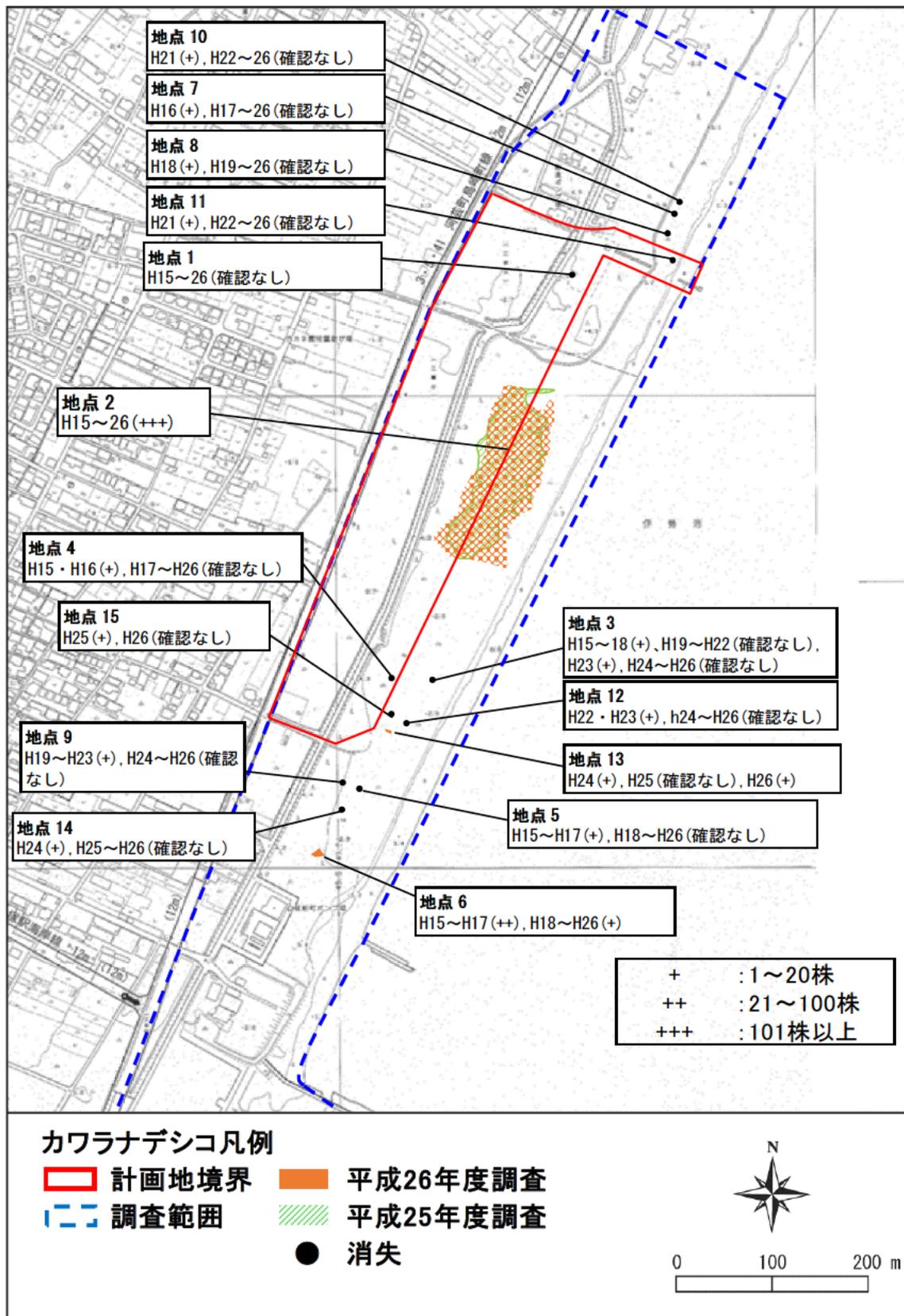


図 3.1-5 カワラナデシコ確認地点

## 2) ビロードテンツキ

ビロードテンツキの生態及び確認状況を表 3.1-5 に、生育株数を表 3.1-6 に、コドラート調査結果を表 3.1-7、経年変化を表 3.1-8、図 3.1-6 に示す。

今年度調査では、これまで確認が記録されている 16 地点のうち 9 地点、範囲外 3 地点の合計 12 地点で生育個体が確認された。

今年度は、地点 1 が最も多く 104,716 株であり、総株数の 183,608 株の 57% を占めていた。

生育密度は、確認数が最も多い地点 1 で 10.6 株/m<sup>2</sup>、次いで確認数が多い地点 5 (6 を含む) が 14.0 株/m<sup>2</sup>、地点 4 が 9.4 株/m<sup>2</sup> となっており、地点 5 (6 を含む) が若干高い密度となっていた。

経年変化をみると、地点 1、4、5 (6 を含む) 及び 7 (16 を含む) は継続して確認されているが、これまで確認されていた地点 2 (12、14 を含む) において、今年度未確認となっていた。地点 2 (12、14 含む) は海岸に近く、昨年度に襲来した台風の強風、高波等により、消失した可能性がある。また、平成 15 年を最後に未確認となっていた地点 3 において、今年度 1 株を確認した。

確認数は、平成 13 年度以来、平成 21 年度を除き毎年増加し、平成 24 年度に 475,872 株となったが、翌年の平成 25 年度に半減し、今年度は昨年度から横ばい状態で推移していた。

表 3.1-5 特筆すべき種の生態及び確認状況（植物：調査対象種：ビロードテンツキ）

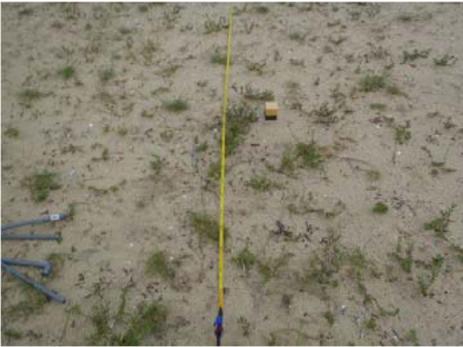
ビロードテンツキ カヤツリグサ科		種の 保存法	-	環境省 RL	-	近畿版 RDB	A	三重県 RL	VU
生態	本州（茨城県・富山県以西）～琉球の海岸の砂地にはえる。花期は8～10月で、花序はわずかな枝を生じ、3～10個の小穂をつける。葉は硬く、絹状の圧毛が密にはえる。								
確認 状況	既往調査で確認された16地点のうち9地点で生育を確認したほか、範囲外3地点で生育を確認した。								
									
ビロードテンツキの生育環境									
									
確認個体 (左：生育の良い個体 右：枯死した個体が混じる)									
平成26年8月27日撮影									

表 3.1-6 ビロードテンツキの生育株数

地点	株数	生育面積 (㎡)	生育状況別株数				
			幼	葉	花・果実	地上部枯	地上部枯(幼)
1	104,716 (10.6)	9,910.0	5,946 (0.6)	23,123 (2.3)	74,986 (7.6)	661 (0.1)	0 (0.0)
2	0	—	0	0	0	0	0
3	1	—	0	1	0	0	0
4	9,684 (9.4)	1,033.0	0 (0.0)	258 (0.3)	9,426 (9.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
5	69,034 (14.0)	4,931.0	0 (0.0)	14,177 (2.9)	54,857 (11.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
6							
7	165	—	17	12	136	0	0
8	3	—	0	0	3	0	0
9	0	—	0	0	0	0	0
10	0	—	0	0	0	0	0
11	0	—	0	0	0	0	0
12	地点2、14と合算						
13	5	—	0	0	5	0	0
14	地点2、12と合算						
15	0	—	0	0	0	0	0
16	地点7と合算						
合計	183,608	15,874	5,963	37,571	139,413	661	0
範囲外	3	—	0	0	3	0	0

注1：黄色網掛けの地点は、コドラート調査から生育状況別に密度を算出し、それぞれの生育面積に掛けて算出した推定値であり、株数はその合計値。なお、推定値のうち、地点1、地点4については、端数処理の関係上、表出の数値の単純な積とはなっていない。

それ以外の地点は実数。

2：地点5については、地点6の範囲に加えた。

3：地点12及び地点14については、地点2の範囲に加えた。

4：地点16については、地点7の範囲に加えた。

5：幼；幼个体、葉；葉のみの成熟个体、花・果実；花や果実をつけた成熟个体、地上部枯；生育途中で枯れた个体または花後に地上部の枯れた个体。

6：( )内の数字はコドラート内の平均株数（密度）を示す。

表 3.1-7(1) ビロードテンツキ調査結果

測線	コドラー ト番号	株数	生育状況別株数 (注2)				
			幼	葉	花・果実	地上部枯	地上部枯 (幼)
地点1	1	14	1	1	12	0	0
	2	5	0	0	5	0	0
	3	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0
	7	0	0	0	0	0	0
	8	3	0	2	1	0	0
	9	3	0	0	3	0	0
	10	0	0	0	0	0	0
	11	30	0	9	21	0	0
	12	19	0	1	18	0	0
	13	16	1	3	12	0	0
	14	15	0	3	12	0	0
	15	15	0	5	10	0	0
	16	24	0	12	12	0	0
	17	15	3	1	11	0	0
	18	7	0	0	7	0	0
	19	0	0	0	0	0	0
	20	10	0	3	7	0	0
	21	4	0	0	4	0	0
	22	1	0	0	1	0	0
	23	48	5	17	26	0	0
	24	0	0	0	0	0	0
	25	0	0	0	0	0	0
	26	1	0	0	1	0	0
	27	61	6	11	44	0	0
	28	8	0	0	6	2	0
	29	6	2	0	4	0	0
	30	12	0	2	10	0	0
小計	317	18	70	227	2	0	
平均株数	10.6	0.6	2.3	7.6	0.1	0.0	
地点4 (注1)	1	3	0	1	2	0	0
	2	22	0	1	21	0	0
	3	23	0	0	23	0	0
	4	0	0	0	0	0	0
	5	6	0	0	6	0	0
	6	17	0	0	17	0	0
	7	1	0	0	1	0	0
	8	3	0	0	3	0	0
	小計	75	0	2	73	0	0
	平均株数	9.4	0.0	0.3	9.1	0.0	0.0
地点5・6	1	11	0	1	10	0	0
	2	29	0	5	24	0	0
	3	0	0	0	0	0	0
	4	37	0	6	31	0	0
	5	1	0	0	1	0	0
	6	25	0	9	16	0	0
	7	9	0	2	7	0	0
	8	0	0	0	0	0	0
	小計	112	0	23	89	0	0
平均株数	14.0	0.0	2.9	11.1	0.0	0.0	

表 3.1-7(2) ビロードテンツキ調査結果

測線	株数	生育状況別株数 (注2)				
		幼	葉	花・果実	地上部枯	地上部枯(幼)
地点2・12・14	0	0	0	0	0	0
地点3	1	0	1	0	0	0
地点7・16	165	17	12	136	0	0
地点8	3	0	0	3	0	0
地点9	0	0	0	0	0	0
地点10	0	0	0	0	0	0
地点11	0	0	0	0	0	0
地点13	5	0	0	5	0	0
地点15	0	0	0	0	0	0
範囲外	3	0	0	3	0	0

表 3.1-8 ビロードテンツキ生育株数・株密度・生育面積の経年変化

地点	生育株数													
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	104,720	100,640	106,080	95,880	108,570	125,490	179,297	167,790	116,153	182,090	260,230	269,517	146,529	104,716
2	3,420	147	165	252	48	38	54	141	109	15	42	102	74	0
3	25	21	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
4	11,480	7,700	9,100	7,590	7,920	19,444	13,600	33,000	34,100	46,750	38,475	24,995	13,345	9,684
5	26	45	42	168	146	85,000	99,450	123,250	90,950	178,500	121,550	173,423	44,700	69,034
6	23,600	28,910	37,170	59,520	52,080									
7	416	308	461	969	2,475	11,375	7,280	7,313	5,200	4,675	4,725	6,042	116	165
8	2	4	5	16	0	1	0	0	0	0	0	68	6	3
9	—	—	—	—	—	—	2	2	2	1	0	0	0	0
10	—	—	—	—	—	—	3	10	8	7	0	0	0	0
11	—	—	—	—	—	—	2	0	0	0	0	0	0	0
12	—	—	—	—	—	—	7	9	26	53	123	—※	—※	—※
13	—	—	—	—	—	—	49	141	110	0	0	1,697	26	5
14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	12	—※	—※	—※
15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	28	0	0
16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	40	—※
合計	143,689	137,775	153,028	164,395	171,239	241,348	299,744	331,656	246,658	412,105	425,157	475,872	204,836	183,608

地点	株密度 (株/㎡)													
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	—	—	7.8	6.8	7.7	8.9	12.7	11.9	8.9	13.9	16.8	26.2	18.2	10.6
2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	—	—	6.5	6.6	6.6	10.63	8.5	20.9	15.5	21.3	14.3	14.3	12.0	9.4
5	—	—	—	—	—	12.5	14.6	18.3	13.4	26.3	18.6	29.3	9.8	14.0
6	—	—	6.3	9.6	8.4									
7	—	—	—	—	5.5	8.75	5.0	6.0	4.0	4.3	5.5	15.5	—	—
8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7.3	—	—
14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

地点	生育面積(㎡)													
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	—	—	13,600	14,100	14,100	14,100	14,100	14,100	13,100	13,100	15,900	10,300	8,066	9,910
2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4	—	—	1,400	1,150	1,200	1,600	1,600	1,600	2,200	2,200	2,700	1,754	1,112	1,033
5	—	—	—	—	—	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	5,929	4,585	4,931
6	—	—	5,900	6,200	6,200									
7	—	—	—	—	450	1,300	1,300	1,300	1,300	1,100	900	389	—	—
8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	234	—	—
14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1：平成18年度以降の地点5、6は、生育範囲が連続するため結果を統合した。

※2：平成24年度以降の地点2、12、14は、生育範囲が連続するため結果を統合した。

※3：平成25年度の生育株数の地点1及び合計は、再精査を行い修正した。

※4：平成26年度の地点7、16は、生育範囲が連続するため結果を統合した。

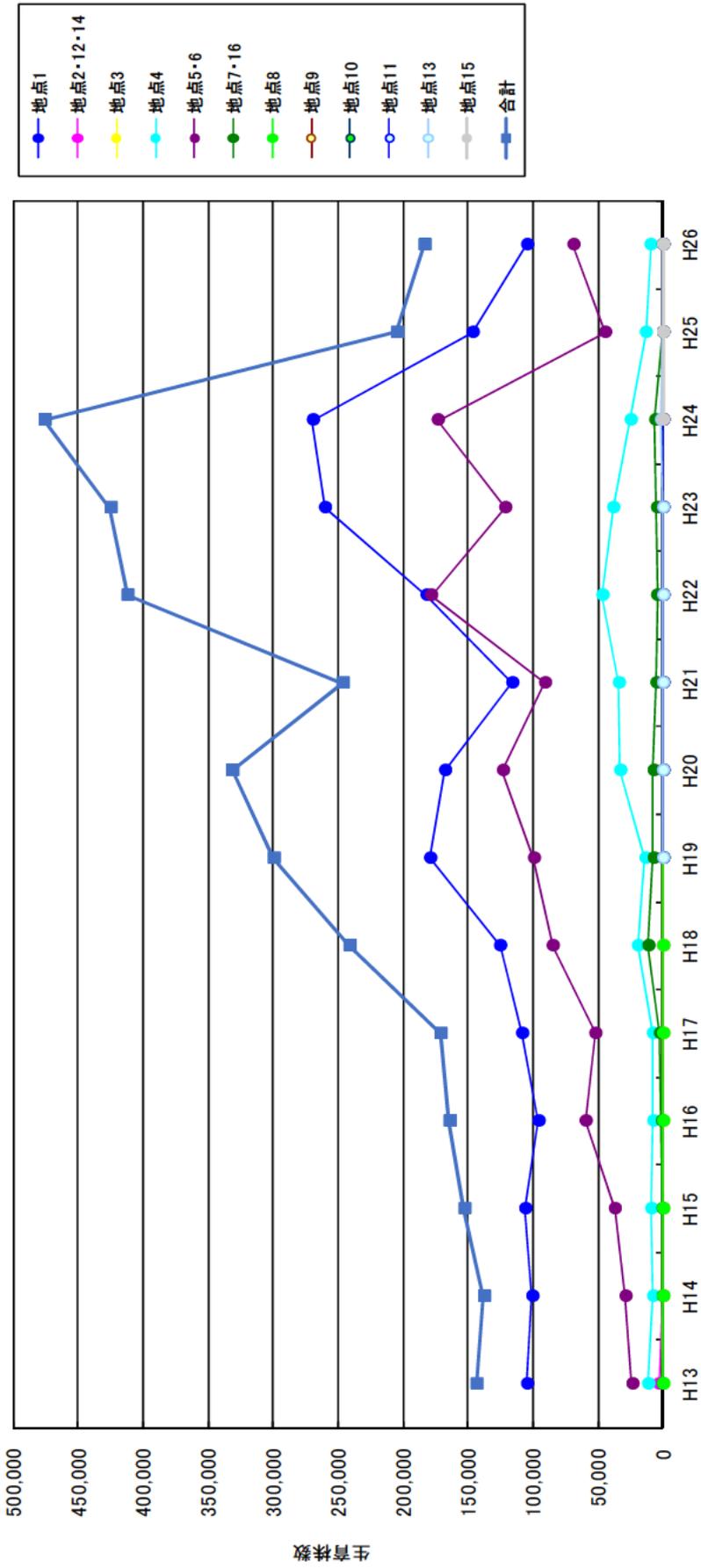


図 3.1-6 ビロードテンツキ生育株数の経年変化

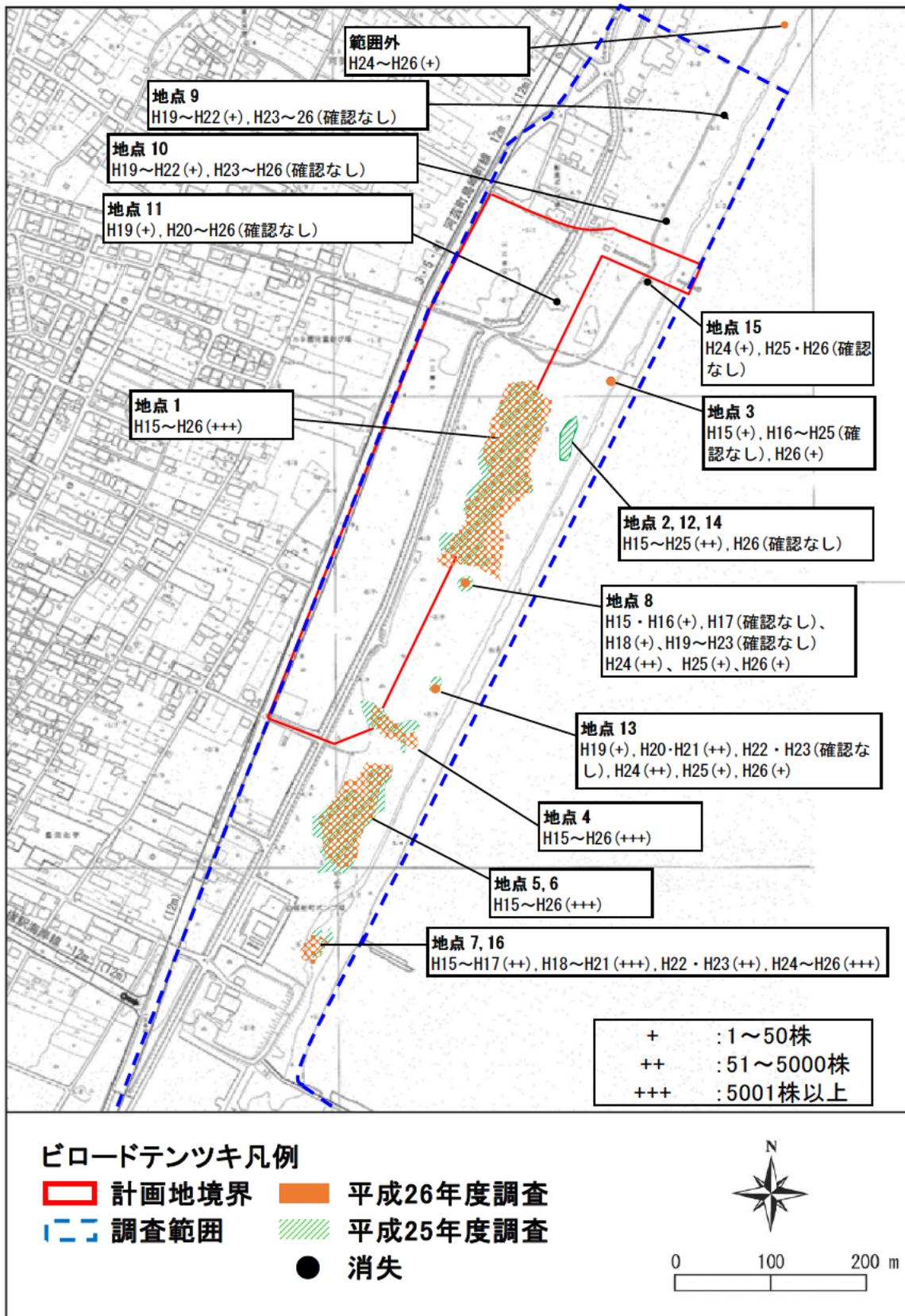


図 3.1-7 ビロードテンツキ確認地点

### 3) ハマボウフウ

ハマボウフウの確認状況を表 3.1-9 に、生育株数を表 3.1-10 に、コドラート調査結果を表 3.1-11、経年変化を表 3.1-12、図 3.1-8 に示す。

今年度調査では、これまで確認が記録されている 12 地点のうち 10 地点で生育個体が確認された。

今年度は地点 4～8 で 72,145 株と、総株数 77,860 の 94%を占めていた。確認地点はこれまでと同様の地点であり、平成 15 年度以降生育が確認されていない地点 10 及び、平成 16 年度以降生育が確認されていない地点 11 では、今年度も確認できなかった。この 2 地点については、長期間確認されておらず、今後も生育する可能性は低いと考えられる。

経年変化をみると平成 13 年度、16 年度、17 年度に 5 万株を下回り、平成 19 年度及び 20 年度に 12 万株を超えたが、それ以外は 5 万株から 9 万株の間で推移している。

地点別では、確認数が多い地点 4～8 及び地点 2、3 以外の地点 1、5、9、12 では減少傾向にある。地点 4～8 及び地点 2、3 は、海岸線からほぼ同等の距離にあり、ハマボウフウの生育適地と考えられる。同様の環境にある地点 1 については、イネ科類の繁茂のため、生育数が減少していると考えられる。また、地点 5 及び 12 については、海岸線より陸側に入り込んだ地点であり、ハマボウフウ以外の草丈のあるイネ科およびカヤツリグサ科等が今後も優先するものと考えられる。

表 3.1-9 特筆すべき種の生態及び確認状況（植物：調査対象種：ハマボウフウ）

ハマボウフウ		種の 保存法	-	環境省 RL	-	近畿版 RDB	G	三重県 RL	-
生態	北海道～琉球の海岸の砂地にはえる多年草。花期は6～7月で、花は密な複散形花序をなし、花弁は白色か淡紫色。								
確認 状況	既往調査で確認された12地点のうち10地点で生育を確認した。また、北側の調査範囲外では、今年度も生育が確認された。								
									
ハマボウフウの生育環境									
									
確認個体		種子							
平成26年8月27日撮影									

表 3.1-10 ハマボウフウの生育株数

地点	株数	生育面積 (㎡)	生育状況別株数(注)			
			幼	葉	花・果実	地上部枯
1	1,577 (0.4)	4,416	631 (0.1)	946 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
2	2,450 (1.1)	2,227	445 (0.2)	2,004 (0.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
3	1,402 (0.8)	1,682	0 (0.0)	1,402 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
4	72,145 (4.3)	16,876	4,641 (0.3)	67,504 (4.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
6						
7						
8						
5	25 -	-	0 -	23 -	0 -	2 -
9	103 -	-	41 -	62 -	0 -	0 -
10	0 -	-	0 -	0 -	0 -	0 -
11	0 -	-	0 -	0 -	0 -	0 -
12	158 -	-	11 -	141 -	0 -	6 -
合計	77,860	25,201	5,769	72,082	0	8

注1：黄色網掛けの地点は、コドラート調査から生育状況別に密度を算出し、それぞれの生育面積に掛けて算出した推定値であり、株数はその合計値。なお、端数処理の関係上、表出の数値の単純な積とはなっていない。それ以外の地点は実数。

2：幼；幼个体、葉；葉のみの成熟个体、花・果実；花や果実をつけた成熟个体、地上部枯；生育途中で枯れた个体または花後に地上部の枯れた个体。

3：( )内の数字はコドラート内の平均株数（密度）を示す。

4：地点4及び地点6～8については、生育範囲が連続するため結果を統合した。

表 3.1-11 ハマボウフウのコドラート調査結果

地点	コドラート 番号	株数	生育状況別株数				地点	コドラート 番号	株数	生育状況別株数			
			幼	葉	花・果実	地上部枯				幼	葉	花・果実	地上部枯
1	1	0	0	0	0	0	4, 6 ~ 8	17	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0		18	0	0	0	0	0
	3	1	0	1	0	0		19	2	0	2	0	0
	4	0	0	0	0	0		20	23	4	19	0	0
	5	0	0	0	0	0		21	4	0	4	0	0
	6	1	0	1	0	0		22	20	2	18	0	0
	7	2	1	1	0	0		23	0	0	0	0	0
	8	1	1	0	0	0		24	0	0	0	0	0
	9	0	0	0	0	0		25	1	0	1	0	0
	10	0	0	0	0	0		26	0	0	0	0	0
	11	0	0	0	0	0		27	3	0	3	0	0
	12	0	0	0	0	0		28	0	0	0	0	0
	13	0	0	0	0	0		29	1	0	1	0	0
	14	0	0	0	0	0		30	10	1	9	0	0
	小計	5	2	3	0	0	31	0	0	0	0	0	
	平均株数	0.4	0.1	0.2	0.0	0.0	32	3	0	3	0	0	
範囲外	15	0	0	0	0	0	33	15	1	14	0	0	
	16	0	0	0	0	0	34	1	0	1	0	0	
	17	1	0	1	0	0	35	1	0	1	0	0	
	18	0	0	0	0	0	36	8	0	8	0	0	
	19	2	1	1	0	0	37	5	0	5	0	0	
	20	0	0	0	0	0	38	2	1	1	0	0	
	小計	3	1	2	0	0	39	4	0	4	0	0	
	平均株数	0.5	0.2	0.3	0.0	0.0	40	2	0	2	0	0	
2	1	1	0	1	0	0	41	2	0	2	0	0	
	2	5	1	4	0	0	42	3	0	3	0	0	
	3	4	1	3	0	0	43	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	0	0	44	0	0	0	0	0	
	5	1	0	1	0	0	45	6	0	6	0	0	
	6	0	0	0	0	0	46	2	1	1	0	0	
	7	0	0	0	0	0	47	17	0	17	0	0	
	8	0	0	0	0	0	48	15	0	15	0	0	
	9	0	0	0	0	0	49	7	0	7	0	0	
	10	0	0	0	0	0	50	7	0	7	0	0	
	小計	11	2	9	0	0	51	1	1	0	0	0	
	平均株数	1.1	0.2	0.9	0.0	0.0	52	1	0	1	0	0	
3	11	1	0	1	0	0	53	1	0	1	0	0	
	12	1	0	1	0	0	54	4	0	4	0	0	
	13	3	0	3	0	0	55	0	0	0	0	0	
	14	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	0	
	15	0	0	0	0	0	小計	171	11	160	0	0	
	16	0	0	0	0	0	平均株数	4.3	0.3	4.0	0.0	0.0	
	小計	5	0	5	0	0							
	平均株数	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0							

注：幼；幼個体、葉；葉のみ成熟個体、花・果実；花や果実をつけた成熟個体、地上部枯；生育途中で枯れた個体または花後に地上部の枯れた個体

表 3.1-12 ハマボウフウ生育株数・株密度・生育面積の経年変化

地点	生育株数(株)																				
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26							
1	8,100	10,800	7,150	503(304)	9,800	17,850 (9310)	18,200 (4550)	17,850 (350)	17,500 (5,250)	22,050 (1,4000)	12,250 (1,750)	2,324 (358)	611 (0)	1,577 (631)							
2	2,750	57,876	64,350	28640	37,620	66,805 (2,613)	97,782 (42,546)	57,102 (1,120)	101,514 (79,495)	66,059 (26,871)	39,118 (6,345)	823 (0)	791 (132)	2,450 (445)							
3	5,700											586 (390)	891 (178)	1,402 (0)							
4	5,952											68,929 (16,298)	67,643 (3,645)	72,145 (4,641)							
6	3,000																				
7	6,000																				
8	1,200																				
5	386											290 (156)	347	1,812 (873)	1,654 (379)	773 (281)	87 (25)	0	80 (0)	44 (0)	25 (0)
9	649											4,800	3,696	261 (104)	699 (415)	368 (49)	399 (194)	265 (65)	392 (179)	137 (102)	0
10	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
11	—	—	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
12	本地点は地点7に含めて計算				936 (562)	1,350 (8)	2,675 (1731)	3,043 (425)	2,813 (1,145)	1,190 (213)	地点2に 含めて 計算	355 (37)	53 (0)	158 (11)							
合計	33,741	73,477	75,197	29,404 (408)	49,345 (1133)	86,420 (11980)	120,868 (49894)	79914 (2339)	122,992 (86,350)	89,523 (28,611)	51,368 (8,095)	73,302 (17,083)	70,045 (3,955)	77,860 (5,769)							

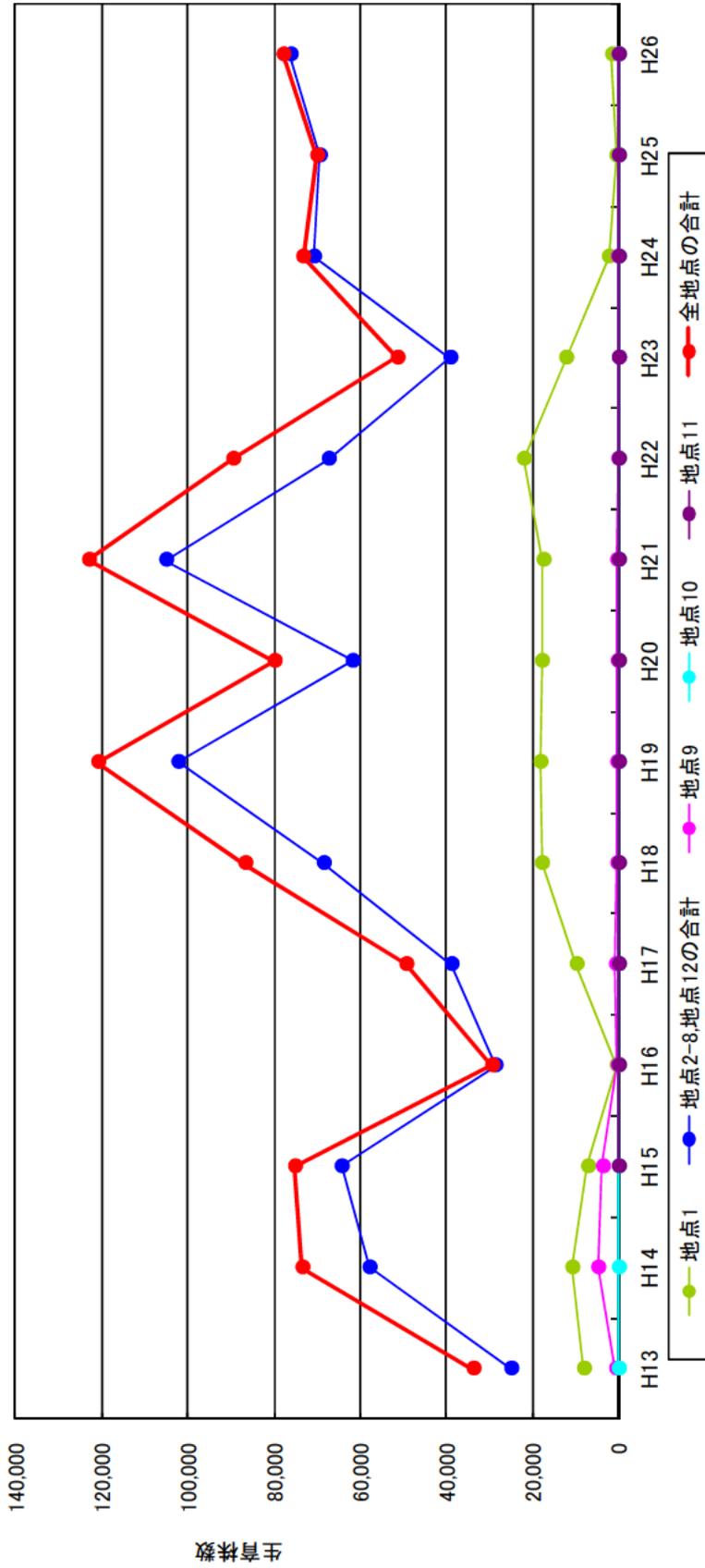
地点	株密度(株/㎡)																					
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26								
1	—	—	1.3 (3.0)	—	1.3 (3.5)	2.35 (0.2)	2.6 (0.7)	2.6 (0.1)	2.5 (0.8)	3.2 (0.2)	1.8 (0.3)	0.7 (0.1)	0.2 (0.0)	0.4 (0.1)								
2	—	—	1.5 (7.4)	0.8 (1.2)	1.8 (3.7)	3.07 (0.13)	4.7 (2.0)	2.7 (0.1)	4.9 (3.8)	3.2 (1.3)	1.9 (0.3)	0.3 (0)	0.6 (0.1)	1.1 (0.2)								
3	—	—										0.5 (0.3)	0.8 (0.2)	0.8 (0.0)								
4	—	—										5.1 (1.2)	4.2 (0.2)	4.3 (0.3)								
6	—	—																				
7	—	—																				
8	—	—																				
5	—	—										—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	—	—										5.6 (9.6)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—								
11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—								
12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—								

地点	生育面積(㎡)													
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
1	—	—	5,500	—	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	3,575	2,849	4,416
2	—	—	3,100	2,150	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,744	1,318	2,227
3	—	—	3,300	1,750	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	1,171	1,069	1,682
4	—	—	4,000	3,400	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	3,600	13,582	16,202	16,876
6	—	—	3,600	3,550	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800				
7	—	—	11,900	12,650	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400				
8	—	—	4,900	2,650	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	6,700				
5	—	—	12,100	9,650	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9	—	—	660	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注：生育株数の（ ）内の数値は幼個体数、株密度の（ ）内の数値は幼個体の株密度を示す。

地点 5、9～12 については全数を示す。

平成 25 年度の生育株数の地点 2 及び合計は、再精査を行い修正した。



注：地点2～8及び地点12の生育株数は、年度によっては他の地点と合算になっており、各地点単独の結果が得られない。  
また、年度によって合算となる地点の組み合わせも異っているため、便宜上、ひとつの項目にまとめた。

図 3.1-8 ハマボウフウ生育株数の経年変化